

○イチゴ募金活動のねらいと活動内容について

5月2日（月）

本校では、3月11日の地震発生直後に代表委員会が中心となり、児童・保護者に義援金の呼びかけを行ったところわずか5日足らずで、225,850円もの義援金が集まりました。校内だけの募金活動でこれほどまでの多くの義援金が集まったのは、それだけ児童や保護者の被災地への思いが強いことの表れだと感じました。

その後、災害の状況が明らかになるにつれて、今回の地震、津波、原子力発電所事故による被災地の復興は、長い時間と大きな支援の力が必要だと強く思うようになりました。

そして、そのためには、一度に大きな力も必要ですが、小さくてもずっと継続する力や被災地のことを忘れずに思い続ける力も大切だと考えます。また、今後の日本を考える時に、全ての人々が今の生活スタイルを見直していく必要性も感じております。

そこで、本校では、これまで5年生、6年生が、年間を通した常時活動として、保健委員会や給食委員会等、学校全体のためになる仕事を委員会活動として実施していますが、ここに新たにボランティア委員会を設置し、この委員会が中心となって、自分たちでできる被災地の応援活動に取り組んでいこうと考えています。

1. 趣旨等

①イチゴ募金活動

- ・1円か5円を各家庭で義援金としてプールし、学校のイチゴ募金箱に持ち寄る。
- ・1円、5円を毎日集める行動を行うことで、被災地のことをいつも思い出し、被災地への応援の思いを持ち続ける。
- ・イチゴは、1円のイチと5円のゴを組み合わせたキャッチフレーズ。
- ・イチゴのハートマークのデザインは、イチゴの色のように真っ赤に燃えるハートで、被災地の応援をずっと続けていきたいという強い意志を表すもの。

②生活のスタイルを見直す活動

豊かで便利な社会は、多くの人の犠牲の上に成り立っていることを、今回の災害は改めて教えてくれました。福島県の原子力発電所の事故にあっている中学生の「東京に住む人たちがもう少し電気を使わないでいてくれたら、ここに発電所はなくてもよかった。私は、これほど多くの電気を使っていないのに。」という内容の新聞記事がありました。まだ、この地域に住む方々は、家に戻ることもできません。真っ暗な暗闇と寒さの中で過ごす夜の恐怖は、経験した人しか分かりません。一方で、東京はというと、わずか1時間の停電も経験したことがないところが多くあります。

今、福島原子力発電所の発電量を火力発電で補おうとしています。しかし、これも継続すれば地球の温暖化に悪影響を及ぼします。水力発電をといえば、町や村や緑が湖底に沈み、自分の生まれた所から離れなければならない人がでてきます。では、風力は、太陽光はと考えますが、これにも必ず、低周波問題やその他の多くの課題が発生してくるに違いありません。

今の社会で、電気をなくすことは不可能です。しかし、この災害を機に、社会全体が電気の使用量や使用方法を見直すとともに、個々人が自分の生活のスタイルを見直していけば、現在よりも、はるかに少ない量で現在の生活は維持できるのではないかと思います。

宇宙から見た日本の夜は異常に明るかったといえます。かつては、午前0時過ぎは、テレビ放送を自粛

したこともありました。今、駅の照明が暗くなっている、駅のエスカレーターが動いていなくても、不便は感じません。エレベーターが動いていれば、体の不自由な人もホームに上がれます。

本校では、こうしたことから23年度の目指す児童像に「生活のスタイルを見直せる子」を加え、その育成に取り組んでいくことにしました。

(学校内)

- ・ボランティア委員会が休み時間に廊下や教室の電気が節電や消灯状態にないか確認する。
- ・昨年度の電気や水道の使用量と本年度の使用量を比較し、公表しながら、意識を高めていく。
- ・被災地の食事のことも考えながら、「もったいない」を意識し、実践に心がける。

(家庭内)

- ・健康にためにも、夜遅くまで起きていないで、早寝、早起きに心がける。
- ・家族団らんのためにも、テレビ等の視聴は、家族皆で、できる限り同じ部屋で見る。
- ・お風呂や家族ができる限り、間をあげないで入る。
- ・様々な方法で節電、節水に心がける。
- ・無駄遣いをしないで、不必要なものを買わないようにする。

③応援地等について

およそ65年前の戦争の際に、本校の児童は、宮城県登米市に集団疎開をさせていただきました。今回の災害では、その登米市に震災避難所が設置されているということです。大変微力ではありますが、おじいちゃん、おばあちゃんたちがお世話になった恩返しの気持ちも込めて、この避難所の方々を応援していきたいと考えています。

2. 今後の活動等について

- ① ボランティア委員会が活動内容を考え、全校や保護者の皆様に協力を依頼していきます。
- ② 活動内容や募金額については、その都度、ホームページ等で公開していきます。